

1 はじめに

ハードロックⅡ CFコートFは高耐候性弾性フッ素系塗料で、コンクリート構造物の樹脂ライニング後又は繊維シート接着補強後の保護塗料として最適な材料です。

2 特長

①高耐候性・耐紫外線性

フッ素樹脂の基本的特性である耐候性、耐紫外線性により、塗布面の劣化を防ぎます。このため、長年にわたり素材の保護が可能であり、メンテナンスの周期を大きく伸ばします。

②耐薬品性・耐溶剤性

アルカリ性、酸性などの化学薬品や、各種溶剤に対して、優れた特性を示し、過酷な条件下の利用に効果を発揮します。

③優れた低汚染性

油性成分を含む汚染物質が塗膜表面に付着しにくく、降雨時には雨水が全面的に流下し、雨筋が出来にくい汚れ難い塗膜を形成します。

3 性状

CFコートFの代表性状

	CFコートF 主剤	CFコートF 硬化剤
外観	灰色系粘ちょう液体	淡黄色粘ちょう液体
混合比	主剤：硬化剤 13：1	
混合液比重	1.27	
固形分	61%	
可使時間	5 Hrs./20℃	
塗膜硬化時間	6 Hrs./20℃	
塗膜付着力	セロテープ/碁盤目テスト 25/25(2mm)	
塗膜表面硬度	鉛筆硬度 2H	
塗膜耐屈曲性	合格	
耐衝撃性	合格(500mm高さ×300g重さ)	
中性化防止能	中性化深さ 0~2.0mm	
遮塩性	浸透深さ 0mm	
耐候性	ウエザ・オ・メーター 4,000 Hrs. 異常無し	

4 荷 姿

金属缶入り 14 kg セット 主 剤 : 13 kg 缶入り 硬化剤 : 1 kg 缶入り

C F コート F の標準色は灰色です。標準色以外の特注色に関しましては別途ご相談ください。

5 使用法

- ①下地に汚れがある場合は十分に掃除した後に塗布してください。
- ②主剤と硬化剤を正確に計量し（主剤：硬化剤 13：1）充分攪拌し混合ムラが無いようにしてください。ローラー又は吹き付けで塗布してください。
- ③重ね塗りする場合は塗膜が乾燥した事を確認後行ってください。
- ④硬化剤は水分、湿気に変質するため、開缶後は全量使い切るようにしてください。
- ⑤C F コート F は水分を嫌います。塗装面が結露等で濡れている場合はウエス等で良く拭く等して良く乾燥させてください。同様に水で濡れた容器や塗布器具は用いないでください。

取り扱い上の注意事項

- ①消防法の危険物に該当し 燃えやすい液体です。作業場は火気厳禁としてください。
- ②皮膚や衣類に付着するとかぶれる恐れがありますので、付着物を速やかに拭き取り、早めに水と石鹼で十分に洗ってください。万一かぶれた場合は医師の手当てを受けてください。
- ③作業場所は換気を良くして、保護眼鏡、保護手袋、必要に応じて有機ガス用マスク等の保護具を着用してください。
- ④目に入れたり、飲んだり絶対しないでください。目に入れた場合は直ちに大量の清浄な流水で 15 分間以上洗浄した後、眼科医の手当てを受けてください。又誤飲した場合、安静にして医師の手当てを受けてください。
- ⑤冷暗所に保管してください。
- ⑥使用前に技術資料並びに SDS を熟読し、正しい取り扱い方法をご理解のうえ安全にご使用ください。

ご注意

本製品の主剤、硬化剤ともに消防法危険物第 4 類第二石油類に該当いたします。

保管並びに取り扱いに当たりましたは関連法規をご確認下さい。



警告



- ハードロックⅡは消防法の危険物に相当しますので作業場は火気厳禁としてください。
- 一度に多量の接着剤を硬化させると激しい発熱が生じますので注意してください。
- 皮膚や衣類に付着するとかぶれる恐れがありますので早めに石鹼で洗ってください。万一かぶれた場合は医師の手当てを受けてください。
- 作業場所は換気を良くし、保護眼鏡、保護手袋、必要に応じて有機ガス用マスク等の保護具を着用してください。
- 目に入れたり、飲んだり絶対しないでください。誤って目に入った場合、15分以上流水で洗浄し、医師の手当てを受けてください。また、誤飲した場合、吐かせて医師の手当てを受けてください。
- 湿気や金属との接触を避け、密栓の上冷暗所に保存してください。
- 廃棄する場合は、A/B剤を少量ずつ混合し硬化させてから捨ててください。また混合し、硬化した(硬化中の樹脂は廃棄するまで水の中に浸漬させてください。
- 接着剤が付着した可燃物(ウエス、段ボール、養生シート等)、注入用器具も廃棄するまで水に浸漬させて下さい。
- 本製品の硬化物をディスクサンダー等で研磨した場合、研磨した粉末を集めたまま放置すると自然発火するおそれがあります。積もった研磨粉は、掃除機は使用せずに、ほうき等で集めた上、廃棄するまで十分な水に浸けておき、早めに専門の廃棄物処理業者に処理を委託して下さい。

自然発火の注意

- ディスクサンダー等による研磨粉は掃除機は使用せずほうき等で集めて十分な水に漬けて廃棄してください。
- 樹脂の付着したウエス、ダンボール、ローラー、刷毛等は十分な水に浸漬させて廃棄して下さい。
- 硬化時に発熱を伴います。

◇データ等記載内容についてのご注意◇

- 本書記載のデータ等記載内容は、代表的な実験値や調査に基づくもので、その記載内容についていかなる保障をなすものではありません。
- ご使用に際しては、必ず貴社にて事前に試験を行い、使用目的に適合するかどうかおよび安全性について貴社の責任においてご確認ください。
- 本書記載の当社製品およびこれらを使用した製品を廃棄する場合は、法令に従って廃棄してください。
- ご使用になる前に、詳しい使用方法や注意事項等を技術資料・安全データシートで確認してください。これらの資料は、弊社の営業担当部門で用意しておりますので、お申しつけください。
- 本書の記載内容は、新しい知見により断りなく変更する場合がありますので、ご了承ください。

Denka

デンカ株式会社 特殊混和材部

本社：〒103-8338 東京都中央区日本橋室町2-1-1

TEL 03-5290-5363 FAX 03-5290-5085